令和８年５月28日
国土交通省関東地方整備局
下館河川事務所

工事発注手続きについて

～「Ｒ７君島堰ゲート塗替塗装工事」の発注手続きを行います～

下館河川事務所が発注する「Ｒ７君島堰ゲート塗替塗装工事」において、不調･不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調･不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「Ｒ７君島堰ゲート塗替塗装工事」については、以下のとおり不調･不落対策等を試行、採用します。

【不調･不落対策等】

１．公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）　企業実績評価型
２．競争参加資格の緩和
３．余裕期間制度（フレックス方式）

※詳細は次頁をご覧下さい。

＜発表記者クラブ＞
竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 筑西市記者クラブ
宇都宮市政記者クラブ 筑波研究学園都市記者会

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局　下館河川事務所
電話：０２９６－２５－２１６１（代表）　FAX：０２９６－２５－２１７０
副所長（技術）　青木（あおき）　（内線：２０４）
管理課長　梅田（うめた）　（内線：３３１）

《工事概要》

（１）工 事 名：Ｒ７君島堰ゲート塗替塗装工事
（２）工事場所：栃木県真岡市須釜地先
（３）工　　期：全体工期　契約締結日の翌日から令和９年３月１９日
（４）入札方式：公募型指名競争入札方式　（総合評価落札方式）企業実績評価型
（５）工事種別：塗装工事
（６）工事内容（概要）：扉体塗替塗装　　１式
　　仮設足場　　１式

■工事概要図

扉体塗替塗装

《不調･不落対策等》

１．公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

１）競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。
（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

２）総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。

３）過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

２．競争参加資格の緩和

企業に求める施工実績の緩和

企業に求める同種工事の施工実績範囲を「関東地方整備局管内」から、「全国」として緩和をします。

３．余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和９年３月１９日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書交付	：令和　８年　５月２８日（木）
○技術資料等の提出期限	：令和　８年　６月　８日（月）
○入札書・工事費内訳書の提出期限	：令和　８年　７月１０日（金）
○開札日	：令和　８年　７月１５日（水）

公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式・企業実績評価型）の試行について

【メリット】
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
  →資料の簡素化、合理化 (個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
  →指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 総合評価落札方式・企業実績評価型
  →企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

公示（工事内容・入札時期・落札方式等）

⇒

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
（参加意思表明申請書＋必要資料の提出）

参加要件は企業とし、技術者要件は求めない

⇒

指名基準による選定

⇒

発注（指名通知）
以降は指名競争・総合評価落札方式の手続き

⇒

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

（標準点100点＋加算点（11.5点）＋施工体制評価点（30点））÷入札価格＝評価値
※加算点は企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等＋賃上げの実施に関する評価＋WLB関連企業の評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価